

主 論 文 要 旨

報告番号	① 乙 第	号	氏 名	朝 倉 崇 徳
主 論 文 題 名				
Health-related quality of life is inversely correlated with C-reactive protein and age in <i>Mycobacterium avium</i> complex lung disease: a cross-sectional analysis of 235 patients (肺 <i>Mycobacterium avium</i> complex症患者の健康関連QOLはC反応性蛋白と年齢に負の相関がある：235人の横断的解析)				
(内容の要旨)				
<p>肺<i>Mycobacterium avium</i> complex(MAC)症は免疫正常者に通常起こる、緩徐進行性の慢性呼吸器疾患である。肺MAC症患者の健康に関連する生活の質 (Health-related quality of life: HRQL) を評価した報告は少数あるが、大規模な報告はない。この研究では、肺MAC症のHRQLを評価し、臨床的評価項目との関連を明らかにすることを目的とした。</p> <p>肺非結核性抗酸菌症のHRQLに関わる因子を探索するための横断研究を慶應義塾大学病院で実施した。肺MAC症は2007年の米国胸部疾患学会/米国感染症学会の診断基準に基づいて診断した。HRQLとして、36-item short form health survey (SF-36) を用いた。臨床的評価項目として治療状態、採血項目、喀痰抗酸菌の塗抹・培養結果を用いた。</p> <p>肺MAC症235人(年齢中央値69歳、男性45人)を研究対象とした。SF-36の下位尺度における身体機能・日常役割機能(身体)・全体的健康感・社会生活機能・日常役割機能(精神)、サマリースコアにおける身体的側面・役割/社会的側面が日本国民の標準値に比べ有意に低下していた。多変量解析では、現在治療を受けている肺MAC症患者、過去1年の喀痰抗酸菌塗抹もしくは培養が陽性である患者でSF-36が低値であった。C反応性蛋白と年齢がSF-36と負に相関した。</p> <p>特に身体的要素を中心としたHRQLが肺MAC症では低下しており、現在の治療状態・喀痰抗酸菌塗抹もしくは培養が陽性であること、年齢とCRPと関係していた。今後、CRPが肺MAC症の進行や治療反応性の指標として有用かを探索する研究が必要である。</p>				